

ボッチャ

白い目標球（ジャックボール）に赤と青のボールを6球ずつ投げたり転がしたりして、相手より近づけることで得点を競うスポーツです。



第1エンドは、チーム代表者がトス（じゃんけん）をして、勝ったチームが先攻か後攻を選び、先攻が赤ボールを、後攻が青ボールを使います。先攻がジャックボールを投げ、続いてジャックボールを投げた人が赤ボールを投げる。次に後攻が青ボールを投げる。次の投球からはジャックボールから遠いチームが投げる。最終的にジャックボールにボールを近づけた色のチームが勝ちで、負けたチームの一番近いボールの内側にある勝利チームのボールの数が得点になります。

第2エンドは、青チームがジャックボールを投げ、以降のエンドは赤青交互に投げる。団体戦は6エンドの合計点で勝敗を決める。同点の場合は、クロスにジャックボールを置き、チームの代表者が1球ずつ投げるタイブレークを行い、ジャックボールに近いチームの勝ちとなる。

パラリンピックの正式種目で障がいのある人のために考案されましたが、誰でも楽しむことができます。